# 器具等の洗浄・消毒と適切な薬剤の使用

令和8年度

理容所・美容所衛生管理講習会

札幌市保健所　生活環境課

SAPP_RO

理容所、美容所衛生管理講習会、2つ目のセクションでは、器具等の洗浄・消毒と適切な薬剤の使用についてお話します。

# 理美容所における健康被害リスク

- 器具の不十分な消毒

→B･C型肝炎やエイズなどの感染症リスク

**1客毎に適切な方法で洗浄･消毒する**

- お客様の肌に触れる薬剤

→皮膚炎やアレルギー反応

**頭皮や顔に傷がないか確認する**
**パッチテストやカウンセリングを行う**

2

理容所、美容所の中における、健康被害リスクは、大きく2つに分かれます。
1つ目は、器具の不十分な消毒が原因の健康被害です。施術中に使用するハサミやカミソリなどの器具はお客様の傷口などに触れ、血液で汚染されている可能性があります。器具の洗浄･消毒が不十分だと、器具を介したB型肝炎やエイズなどの感染症リスクが高まります。
このような感染症の伝播を防ぐためにも、器具はお客様の施術が1人終わる毎に洗浄･消毒を行うことが重要です。
2つめは、お客様の肌に触れる薬剤が原因の健康被害です。パーマ剤、カラー剤、ブリーチ、まつ毛エクステンションの接着剤などでお客様に合わないものを使用してしまうと、皮膚炎やアレルギー反応を起こすことがあります。
そのため、これら薬剤を使用する際は、施術の前にお客様の頭皮や顔に傷がないか確認する、パッチテストやカウンセリングを行い、お客様の体質や状態を確認する等の注意を払うことが重要になります。
このセクションでは、これら2つの健康被害を防ぐための、具体的な対策についてお話ししていきたいと思います。

# 器具の適切な消毒方法





3

それでは、まず1つ目の、器具を清潔に保つための正しい消毒の仕方について説明します。

# 正しい消毒の4ステップ

## 1　手指の洗浄・消毒

15秒以上。手を拭いた後、アルコールなどで消毒する。

## 2　器具の洗浄

洗剤を使ってこすり洗い。洗浄後、水気をよく切る。

## 3　器具の消毒

器具に合った適切な方法で行う。

## 4　器具の保管

消毒前のものに触れないようにする。



4

正しい器具の消毒は以下の4ステップを全て順番に行うことが重要です。
1ステップ目は、手指の洗浄。消毒です。手指は、石鹸を使って15秒以上洗いましょう。手を濡らすだけでは意味がありません。洗浄後は手をしっかり乾かしてから、アルコールスプレーなどで消毒するとより効果的です。
2ステップ目は、器具の洗浄です。器具は、洗剤を使ってこすり洗いしないと汚れが落ちません。また、水気を切らないとハサミやカミソリなどの金属の刃が痛んでしまいます。消毒の効果が薄まってしまうため、必ず器具を洗浄して水気をよく切ってから消毒するようにしましょう。
3ステップ目は、器具の消毒です。器具の消毒は、全て同じ方法ではなく、器具に合った方法で行うことが重要です。詳しい消毒方法については、このあと説明します。
4ステップ目は、器具の保管です。適切に洗浄・消毒した器具であっても、使用済みの器具と同じ場所にしまっては意味がありません。必ず、消毒済み器具専用の、きれいな場所に保管してください。シザーケースを使用している場合などは特に注意しましょう。

# 各消毒法に適した器具
## ～血液付着の恐れがないもの～

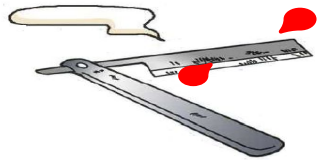
| 消毒法 | 適 | 不向き |
|---|---|---|
| エタノール（つけおき） | 小型の器具類（くし･ブラシ･はさみ類） | 大型の器具類 タオル類 |
| エタノール（ふきとり）、紫外線消毒 | 構造が簡易な器具（くし･はさみ類） | 構造が複雑な器具（ブラシ類） |
| 逆性石けん | 金属製でないくし･ブラシ類 | 金属製器具 |
| 煮沸、蒸気 | 金属、陶磁器、木製の器具･タオル類 | プラスチック製の器具 |
| 次亜塩素酸ナトリウム | タオル類 | 金属製器具 |

5

続いて、詳しい器具の消毒方法について説明します。こちらの表は、各消毒法に適した器具を示しています。血液の付着の有無によっても消毒方法は異なるため、まずこのスライドでは、血液付着の恐れがない器具について説明します。
エタノールのつけおき消毒は、小型の器具の消毒に特に適しています。しかし、器具を消毒液に完全に浸す必要があるため、大型の器具には不向きです。
エタノールでの拭き取り消毒、紫外線消毒は、構造が簡易な器具に有効です。しかし、ブラシ類の根元など、構造が複雑な器具は、薬剤によるふき取りが難しく、紫外線があたりにくいため、推奨されません。
逆性石けんは櫛やブラシなど数量の多い器具の消毒に適しています。
煮沸や蒸気による消毒は、熱に強い金属･陶磁器･木製の器具及び、タオルなどの布製品の消毒に適していますが、逆に、熱に弱いプラスチック製の器具には不向きです。
次亜塩素酸ナトリウムは市販の塩素系漂白剤に含まれている成分です。消毒効果の他に漂白作用もあるので、白いタオルの消毒に特に適しています。一方で、金属を腐食させる作用があるため、長時間のつけおきは避けるなど注意が必要です。

# 各消毒法に適した器具
## ～血液付着の恐れがあるもの～

| 消毒法 | 適 | 不向き |
|---|---|---|
| エタノール（つけおき） | 小型の器具類（くし・ブラシ・はさみ類・カミソリ） | 大型の器具類 タオル類 |
| 煮沸 | 金属、陶磁器、木製の器具・タオル類 | プラスチック製の器具 |
| 次亜塩素酸ナトリウム | タオル類 | 金属製器具 |



血液付着器具用の消毒を！

6

次に、血液付着の恐れがある器具の消毒方法について説明します。
血液が付着した器具は、より感染性リスクが高くなるため、消毒方法はスライドに示したエタノールのつけおき、煮沸、次亜塩素酸ナトリウムの3つの方法のいずれかに限られます。
エタノールのふき取り、紫外線消毒器、逆性せっけんでは消毒の効果がありません。
必ず、血液付着器具に適した方法で消毒を行うようにしてください。

# 消毒用エタノールの使い方①

- あらかじめ76．9～81．4%の
  適正濃度に調製されているため、
  原液のまま使用する。
- 密閉できる容器に保存する。
- 器具を浸して消毒を行う場合、
  7日以内に新しいものに取替える。

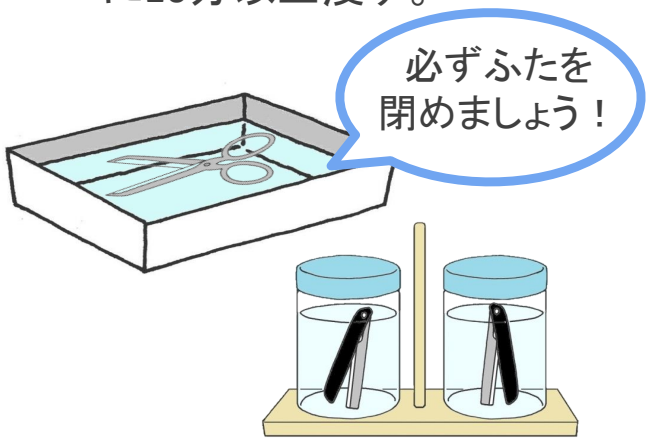



7

続いて、各消毒薬などの使用方法についてご説明します。
まず、消毒用エタノールですが、こちらは最も消毒効果が高い76．9%～81．4%にあらかじめ調製されている製品です。
そのため、「消毒用エタノール」と書いているものは原液のまま使用してください。濃度が低いと消毒効果が弱くなってしまうため、薄めないようにしましょう。
浸して消毒を行う場合は、エタノールが揮発するのを防ぐため、密閉できるようなふた付きの容器を使ってください。
消毒用のアルコール綿をつくって保管する場合も同様に密閉容器に入れてください。
器具を浸して消毒を行う場合は、7日以内に新しいものに取り替えましょう。

# 消毒用エタノールの使い方②

- つけおき
  消毒用エタノール液中に10分以上浸す。




- ふきとり
  消毒用エタノール液を含ませた綿、ガーゼで器具表面を拭く。




8

消毒用エタノールでつけおきをする際は、10分以上行ってください。
消毒液の有効成分が揮発したり、外からほこりなどが入ってきてしまうため、必ずふたをして消毒するようにしましょう。
ふきとりの場合は、しっかり液を染み込ませた綿やガーゼでふいてください。
スプレー式のものもありますが、量が少ないとふきとり効果が弱いため、しっかり器具の表面全体にエタノールが触れるようにしましょう。

# 紫外線消毒器の使い方

- 85μW/㎠以上で20分以上照射する。
- はさみは刃を開いて入れる。
- 一灯型と二灯型がある。
  →一灯型は片側照射後、裏返してもう片側にも照射が必要
- 紫外線ランプの寿命は約3,000時間
- 器具を入れっぱなしにしない！




9

次に、紫外線消毒器について説明します。
紫外線消毒器は、紫外線を照射することにより消毒を行うため、紫外線ランプの光が届かない部分には、全く消毒効果がありません。
したがって、ブラシなど根元まで紫外線が届かないような器具の消毒には不向きです。
ハサミは刃を開いていれ、刃の部分に紫外線があたるようにしましょう。
消毒器には上にしかランプのついていない一灯型と上下にランプのついた二灯型があります。一灯型の場合、片側を20分間照射したあとに、裏返してもう片側も20分間照射する必要があります。
紫外線ランプは約3000時間ほどで切れるのでランプは適宜交換してください。
また、使い終わった器具をそのまま紫外線消毒器に戻し、次に使うときにそこから直接取るというように、UVを物置代わりにしている方がいらっしゃいます。
このような使い方をしてしまうと、使用済みの器具に付いた汚れが消毒済みの器具に付いてしまう、取り違えて消毒不十分な器具を使用する恐れがあるため、使用済みの器具と消毒済みの器具はきちんと別々の場所に置いておくようにしましょう。

# 逆性石けんの使い方

- 皮膚に対して低刺激
- 市販のものは10%水溶液がほとんど。

  50～100倍(0.1～0.2%)に希釈して使用する。
- 容器に入れ、10分間つけおきする。
- 石けんや洗剤が混ざると効果が激減
- 希釈した消毒液は毎日取り替える！

10

最後に、逆性石けんについて説明します。
逆性石けんは、低刺激性の消毒薬であり、ドラッグストア等で販売されています。
市販品はほとんどが10%水溶液であるため、50～100倍に薄め0.1～0．2%に調製して使用します。
逆性石けんは洗剤や石けんなどが混ざると消毒効果が激減するという特徴があります。
逆性石けん液を使用する際は、器具についた洗剤をよく落としてからつけおきするようにしましょう。
逆性石けんなど希釈した消毒薬は濃度の低下や雑菌の繁殖が起こるため、毎日取り替え、新しい消毒液を作成してください。

# 0.1～0.2%逆性石けんの作り方

～計算式～

$$\frac{\text{作りたい消毒液の量（mL）} \times \text{作りたい濃度（%）}}{\text{使う商品の原液の濃度（%）}} = \text{必要な原液の量（mL）}$$

～具体例～




水 500mL　＋　原液 10mL　キャップ1～2杯　→　0.2%消毒液

$$\frac{500\ \text{mL} \times 0.2\%}{10\%} = 10\ \text{mL}$$

※参考　ペットボトルのキャップは1杯で約 7.5mL

11

逆性石けんの希釈方法は、このような簡単な式で計算できます。
作りたい消毒液の量に応じて、逆性石けんをどれくらい使ったら良いのか計算したいときに使ってください。
作りたい消毒液の量に、作りたい消毒液の濃度をかけます。それを、使用する逆性石けんの原液の濃度で割ると、必要な原液の量がわかります。
下の例は、500mLの消毒液の作り方です。
10%で売られている逆性石けんを0.2%まで薄めたいので、500mLの水に逆性石けんを10mL入れれば良い、ということになります。
ペットボトルのキャップ1杯が7.5mLなので、メスシリンダーなどを使わなくても、大体の濃度で作ることができます。

# その他の消毒方法

- **煮沸**
  沸騰してから2分間以上煮沸する
- **次亜塩素酸ナトリウム**
  0.01～0.1%液中に10分間以上浸す
- **蒸気**
  80℃以上の蒸気に10分以上接触させる
- **グルコン酸クロルヘキシジン液**
  0.05%液中に10分間以上浸す
- **両性界面活性剤**
  0.1～0.2%液中に10分間以上浸す

クレゾールは
使えません！

12

その他の、現在法令で定められている消毒方法についてご紹介します。
煮沸による消毒は、沸騰してから2分以上の煮沸が必要になります。
次亜塩素酸ナトリウムは、血液付着の恐れがある器具は0.1%、恐れのない器具は0.01～0.1%液になるよう濃度を調整し、液中に10分間つけおきします。
ただし、金属性の器具は、腐食する恐れがありますので、長時間つけおきしないようにしましょう。
その他、グルコン酸クロルヘキシジン液は、0.05%液に10分以上浸して消毒を行います。
また、両性界面活性剤は、0.1～0.2%液に10分以上浸して消毒を行います。
なお、クレゾールは、平成12年の法令改正で使用できなくなっておりますので、まだお使いの方は、今後はクレゾール以外の方法で消毒するようお願いいたします。

# 薬剤の適切な使用





13

続いて、2つ目の、薬剤の適切な使用方法について説明します。

# 薬剤を使う際には

- これまで異常を感じたことがない人でも、アレルギー性皮膚炎になることがある。
- 使用説明書をよく読み、健康被害を起こす可能性のある対象を確認しておく。
- 詳しい説明のない商品は、メーカーに確認する。
- 認可のない商品は使わない。
- ピンセットなど使用する器具の消毒を徹底する。

【説明書】
商品名：おしゃれ○○カラー
〔使用上の注意〕
・肌の弱い方には使用しないでください。
・○○、△△を使用しておりますので、○○、△△、■■アレルギーの方には使用しないでください。

14

理美容所で使用する、カラー剤やパーマ剤、ブリーチ、まつ毛エクステンションの接着剤などの薬剤は、健康被害を引き起こす可能性があります。
中でも、カラー剤の中で最も広く使用されている酸化染毛剤は、アレルギーを引き起こしやすく、これまで毛染めに異常を感じたことがない人でも、何度か使用するうちにアレルギー性皮膚炎になることがあるという特徴があります。
他の薬剤についても同様で、体質や体調によって、アレルギー反応を引き起こす可能性があります。
最近はオーガニック製品なども販売されていますが、アレルギーが出ないわけではありませんので、注意が必要です。
薬剤の使用説明書をよく読み、使用前に成分について把握してください。もし、商品に詳しい説明がついていない薬剤は、メーカーに確認し、どういう方に使用できない商品なのかを確認してください。
また、許認可を得ていない商品は使用しないでください。
まつ毛エクステンション、まつ毛パーマについては、特に目の周りへの施術であり、目や皮膚への健康被害を起こすリスクが高い行為であり、より一層の安全面への配慮が必要です。ピンセットなど、使用する器具の消毒を徹底してください。

# 症状が出た場合

- 薬剤の使用を直ちに中止する。
- 患部を絆創膏などで覆わない。

（薬剤が皮膚に触れることでアレルギー反応が強まる）

- お客様に医療機関を受診してもらう。
- 原因が薬剤であれば、今後の使用はやめる。



15

万が一、お客様に症状が出てしまった場合は、薬剤の使用を直ちに中止してください。
そして、薬剤が患部に接触することで、アレルギー反応が強まりますので、けっして患部は絆創膏などで覆わないようにしてください。
お客様にはすぐに医療機関を受診いただき、適切な処置を受けてもらいましょう。
症状の原因が薬剤であることが判明した場合は、今後の使用はやめてください。

# 理美容師のみなさまへのお願い

- あらかじめ問診票等でお客様の状態を確認する。
- 施術前に注意事項、施術後のケア、健康被害のリスクについて十分説明を行う。
- お客様の体質に合わない薬剤は要望があっても使用しない。

お名前＿＿＿＿＿＿

1. 過去に毛染めでかゆみが出たり、皮膚に炎症を起こしたことはありますか

2. 現在、頭皮や皮膚に炎症はありますか

3. 薬剤、食物等のアレルギーはありますか

※ 本日、体調を崩されている方は事前にお申し出ください。

〔カウンセリング項目の例〕

16

最後に、理美容師の皆様へのお願いです。
お客様へ薬剤を使用する前に、必ず皮膚が弱くないか、アレルギーはないか等のカウンセリングを行うようにしてください。
カウンセリング項目はお店で扱う薬剤によって変わってきますので、お店ごとに設定をお願いします。
カウンセリング結果と薬剤の説明書などを照らし合わせ、アレルギー等が出る恐れについて、お客様へ事前に説明するようにしてください。
ブリーチなどの強い薬剤を使う際は、肌への刺激が強いことを前もって伝えておきましょう。
慣れているお客様こそ、今まで大丈夫だったからと油断していることもありますので、注意してください。
なお、お客様に合わない薬剤は、お客様の要望があっても、使わないようにしてください。

# ご視聴ありがとうございます



「理容所・美容所の衛生管理と必要な届出」もご覧ください。

17

以上で「器具等の洗浄・消毒と適切な薬剤の使用」に関するお話を終わります。
「理容所・美容所の衛生管理と必要な届出」もご覧ください。